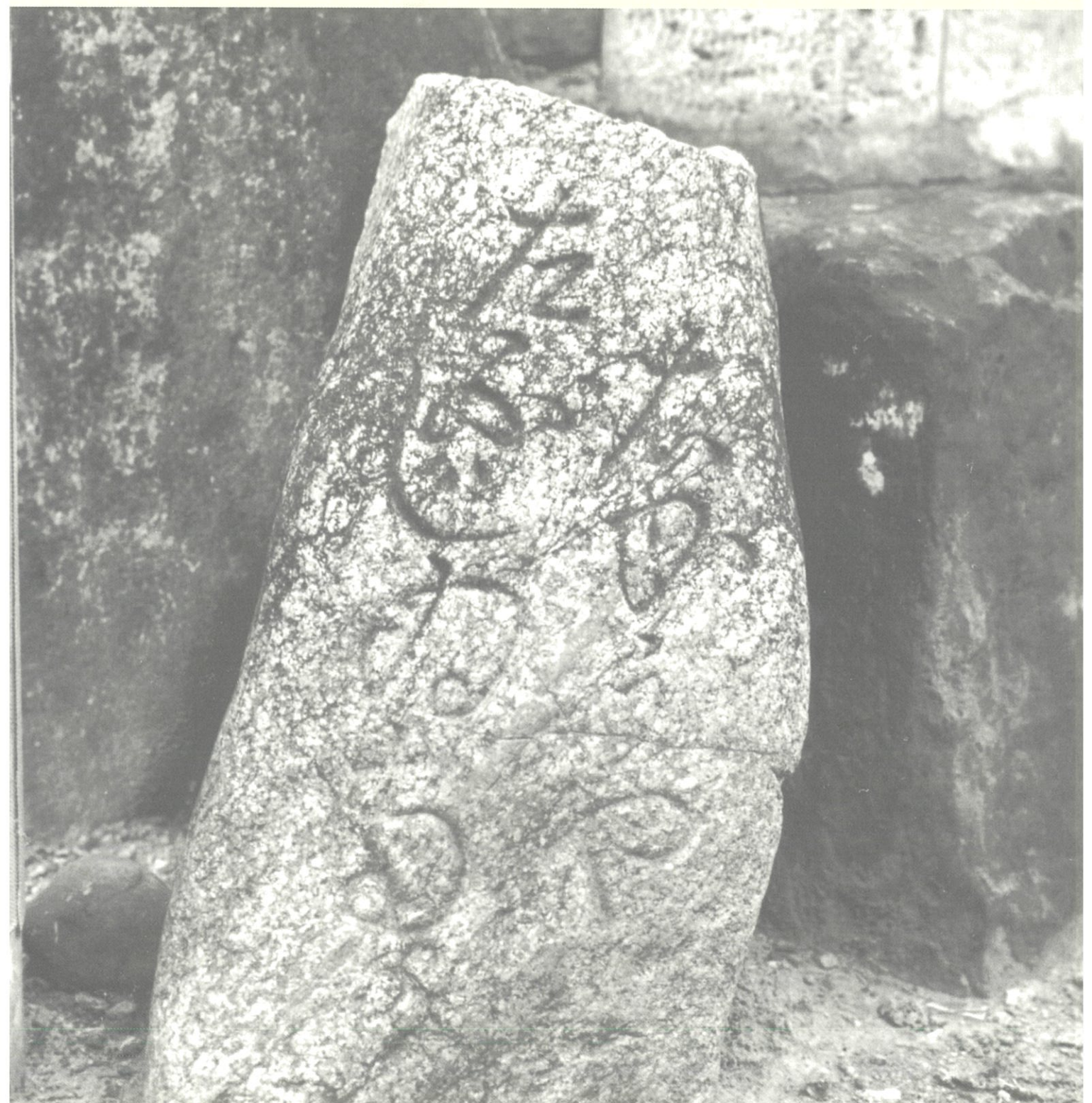


第4章 河内長野市歴史文化基本構想の趣旨

第1節	基本理念	32
第2節	基本方針	32



第1節| 基本理念

本市には、中世の歴史文化遺産が寺院を中心に一定のまとまりをなして遺存し、また近世の有形・無形の歴史文化遺産が寺社に加えて旧村を単位に分布し、人々の生活のなかで現在へ継承されている。また、中世に形成された大規模寺院における寺社境内の景観、近世に形成された宿場町、里山集落の景観は河内長野らしい景色を市民や来訪者へ提供している。

河内長野市歴史文化基本構想は、このような歴史文化遺産に対する市民の理解と愛着が深まることによって、シビックプライドやローカルアイデンティティが醸成され、ひいては地域の持続的発展に向けた創造力と参加意欲の高まりへとつながって、魅力あるまちづくりへの多様な取り組みが市内の各所で展開されるよう、考え方の枠組みを提供するものである。そのため、本構想では、歴史風土の中で形成されてきた「河内長野らしさ」を再認識して「テーマ」として表現し、各テーマに関わる有形・無形の歴史文化遺産や自然景観等の関連性や一体性に目を向けながら、地域の魅力をより豊かに継承し、享受するための課題と方向性をまとめている。

第2節| 基本方針

基本理念に基づいて河内長野市歴史文化基本構想を実現するため、以下の5つを基本方針とする。基本方針に掲げた内容を実施する上での具体的な手法・目標年次等については、本構想を踏まえて策定する河内長野市文化財保存活用計画が担うこととする。



基本方針1

地域の歴史文化遺産の総合的な調査と相互関連性の把握に基づいて、テーマ或いは空間としての歴史文化遺産のまとまりと、その特徴や重要性を再認識し、情報を市民・所有者・行政等で共有する。

- ・市域にある文化財に関する基礎情報の共有化
- ・関連する歴史文化遺産をテーマ別でまとめた関連遺産群が持つ価値の共有化
- ・関連する歴史文化遺産を地域別でまとめた歴史文化遺産保存活用地区が持つ価値の共有化

基本方針2

地域の歴史文化遺産をもって郷土に対する関心と愛着心を喚起し、地域貢献できる人づくりを行う。

- ・把握された歴史文化遺産群が持つ新たな価値の学校教育における活用
- ・把握された歴史文化遺産群が持つ新たな価値の社会教育・生涯学習における活用

基本方針3

地域の歴史文化遺産を継承するために、多様な主体が参加できる仕組みを構築する。

- ・周辺環境も含めた歴史文化遺産群の保存と活用
- ・旧村の住民を中心とした歴史文化遺産の保存主体に次世代を担う住民や新興住宅地の住民が参加できる仕組みの構築
- ・指定文化財の活用、或いは未指定文化財の保存活用に対しての支援に関する仕組みの構築
- ・歴史文化遺産の継承による文化芸術の振興

基本方針4

歴史文化遺産が集積する地域について新たな価値づけを行い、地域の魅力を向上させる。

- ・把握された歴史文化遺産群の価値による住環境の魅力向上
- ・有形・無形の歴史文化遺産の保存継承を通じた地域コミュニティの維持・発展
- ・把握された歴史文化遺産群の観光への活用

基本方針5

長期的視点で効果的・効率的な歴史文化遺産の保存・管理を行う。

- ・持続可能で効果的な歴史文化遺産の保存・継承の実施
- ・修復資材の地産・地消の推進
- ・歴史文化遺産の防犯・防災体制

